

第2期 鹿児島市スポーツ推進計画

スポーツでにぎわう
活力あるまち
鹿児島市

第2期

鹿児島市スポーツ推進計画

スポーツでにぎわう 活力あるまち 鹿児島市

はじめに



鹿児島市長 下 鶴 隆 央

本市では、市民のだれもが、いつでも、どこでも、親しめるスポーツ・レクリエーションの推進と活力あるまちづくりを進めるため、平成24年度に「鹿児島市スポーツ推進計画」を策定し、その基本方針に基づく各種施策を実施してまいりました。

この間、鹿児島マラソンの開催をはじめ、鹿児島ユナイテッドFCや鹿児島レブナイズなどの地元プロスポーツチームの盛り上がり、さらには、東京オリンピック・パラリンピック競技大会における多くのトップアスリートの活躍により、市民のスポーツへの関心が高まってまいりました。

一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大により、様々なスポーツイベントの中止や活動自粛等、市民のスポーツに親しむ機会が失われたほか、市民生活や社会活動にも大きな影響が及んでおります。

このような中、第六次鹿児島市総合計画の基本目標の一つに掲げる「魅力にあふれ人が集う 活力あるまち」づくりをスポーツの観点から推進するため、国の「第3期スポーツ基本計画」を参酌しながら、このたび「第2期鹿児島市スポーツ推進計画」を策定いたしました。

この計画では、「スポーツでにぎわう 活力あるまち 鹿児島市」を基本目標に掲げ、今後5年間において本市のスポーツ推進・交流の拡大を図るとともに、本年10月に開催される「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」等を活かし、誰もがスポーツを「する」「みる」「ささえる」ことができる社会の実現を目指すこととしております。

本計画の推進にあたりましては、各種団体の皆様と行政が緊密に連携しながら取り組んでいくことが何より重要でありますので、皆様方の一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、熱心に議論を重ねていただきました鹿児島市スポーツ推進審議会の委員の皆様をはじめ、貴重なご意見やご提案をいただきました市民や関係の皆様方に心より感謝申し上げます。

令和5年3月

目次

第1章 計画策定にあたって

- 1 計画策定の趣旨 6
 - (1) 計画策定の目的 6
 - (2) 計画の位置づけ 7
 - (3) 計画期間 8
 - (4) SDGsとの関連 8
- 2 スポーツ推進の現状と課題 9
 - (1) 第1期計画の進捗状況 9
 - (2) 第1期計画の総括 10
 - (3) 本市のさらなるスポーツ推進に向けた現状・課題 10

第2章 計画の全体像

- 1 基本目標及び基本方針 14
- 2 計画の体系及び目標指標 16

第3章 基本方針の展開

- 基本方針1 生涯にわたるスポーツ活動の推進 20
- 基本方針2 誰もがスポーツに関わる機会の創出 22
- 基本方針3 地域からスポーツを盛り上げる活動の推進 23
- 基本方針4 全国大会を目指す選手等への支援 24
- 基本方針5 スポーツによる地方創生・まちづくり 25

第4章 本市のスポーツ振興に向けて

- 1 推進体制 28
- 2 計画の進行管理 28

参考資料

- 用語解説 29

第2期鹿児島市スポーツ推進計画

— <KAGOSHIMA CITY> —

第1章

計画策定にあたって

1

計画策定の趣旨

(1) 計画策定の目的

平成23年（2011年）8月、スポーツを取り巻く状況の変化を踏まえ、我が国のスポーツの推進のための基本的な法律として新たに「スポーツ基本法」が施行されました。

国において、スポーツの役割を踏まえ、スポーツ基本法に基づく「スポーツ基本計画」を策定し、今後、国、地方公共団体及びスポーツ団体等が一体となって、スポーツ施策を推進していくための重要な指針として位置づけられています。

これらを踏まえ、本市では、平成24年度（2012年度）に市民のだれもが、いつでも、どこでも、親しめるスポーツ・レクリエーションの推進と活力あるまちづくりを進めるために、生涯スポーツ社会の実現に向けた「鹿児島市スポーツ推進計画」（以下、「第1期計画」という。）を策定し、これまでスポーツの振興に関する様々な施策に取り組んできました。

このたび、第1期計画が令和4年度（2022年度）で終了することから、これまでの進捗状況を把握するとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大やスポーツ界の変化などの様々な社会情勢を踏まえた国の「第3期スポーツ基本計画」（以下、「第3期計画」という。）を参酌しながら、スポーツを活かしたまちづくりの実現に向けた新たな「第2期鹿児島市スポーツ推進計画」（以下、「第2期計画」という。）を策定します。

※スポーツ基本計画における「スポーツ」の捉え方

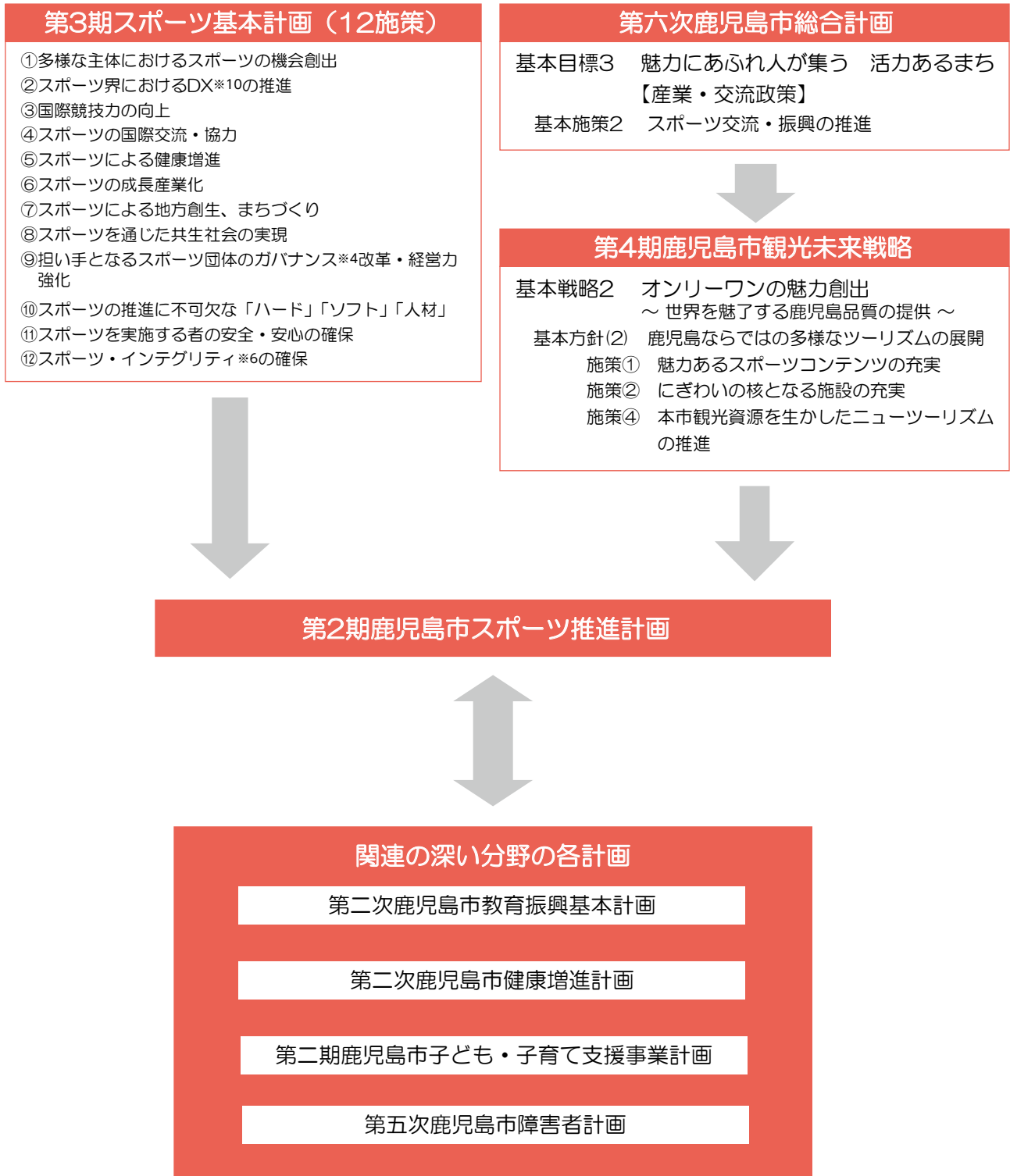
スポーツ基本法において『「スポーツは、世界共通の人類の文化である」と記されている。この「スポーツ」には、競技スポーツに加え、散歩やダンス・健康体操、ハイキング・サイクリング、野外活動やスポーツ・レクリエーション活動も含まれており、正に「文化としての身体活動」を意味する広い概念』とされています。

（出典）第3期スポーツ基本計画

(2) 計画の位置づけ

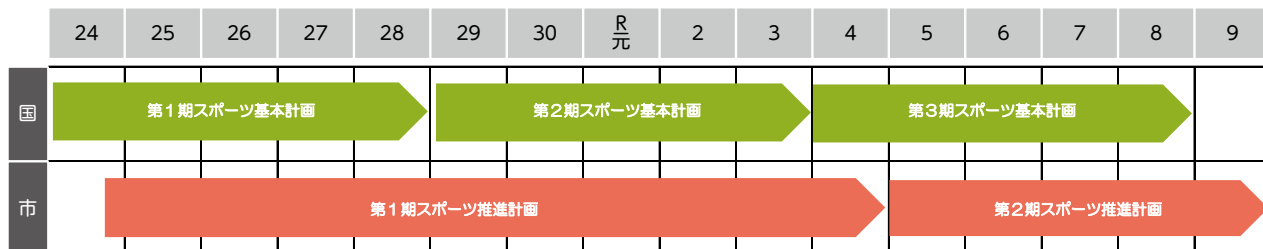
本計画は、国の第3期計画を参酌するとともに、上位計画である「第六次鹿児島市総合計画」におけるスポーツ交流・振興の推進を図ります。

また、「第4期鹿児島市観光未来戦略」及びスポーツ活動に関連の深い分野の各計画との整合性を図ります。



(3) 計画期間

本計画の期間は、これまで10年（1年間延長）でしたが、第2期計画より令和5年度（2023年度）から令和9年度（2027年度）までの5年間とします。

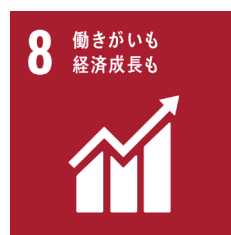


(4) SDGsとの関連

SDGsとは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、平成27年（2015年）9月の国連サミットにおいて採択された国際社会全体の共通目標です。

第2期計画においては、SDGsの目指す17の目標のうち下記の7つの目標が関連することから、本計画においても、SDGsの視点を取り入れた計画とします。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



2

スポーツ推進の現状と課題

(1) 第1期計画の進捗状況

第1期計画に基づく各種事業を着実に実施した結果、指標3及び指標4が令和元年度（2019年度）にそれぞれ目標を達成している一方、指標1、指標2及び指標5は目標に達していない状況にあります。

①子どもの体力を昭和60年頃の水準まで引き上げる。 ②平成29年度から令和3年度の5年間、子どもの体力の向上傾向が維持される。														
男子		50m走（秒）						ボール投げ（m）						
		昭和60	平成24	平成29	平成30	令和元	令和3	昭和60	平成24	平成29	平成30	令和元	令和3	
小学校	5年	全	9.10	9.37	9.37	9.37	9.42	9.45	29.85	23.80	22.53	22.15	21.61	20.58
		県	9.18	9.46	9.41	9.39	9.47	9.46	28.55	24.40	23.30	23.02	22.32	21.58
		市	9.21	9.40	9.41	9.36	9.44	9.45	28.20	24.43	22.59	22.25	21.77	21.03
中学校	2年	全	8.13	8.01	7.99	7.99	8.02	8.01	22.39	21.23	20.56	20.55	20.40	20.31
		県	8.05	8.12	8.09	8.12	8.15	8.12	21.81	21.14	20.61	20.48	20.43	20.27
		市	8.01	8.17	8.08	8.10	8.16	8.10	21.57	21.35	20.24	20.06	19.92	20.06
女子		50m走（秒）						ボール投げ（m）						
		昭和60	平成24	平成29	平成30	令和元	令和3	昭和60	平成24	平成29	平成30	令和元	令和3	
小学校	5年	全	9.41	9.64	9.60	9.60	9.64	9.64	17.04	14.25	13.94	13.77	13.61	13.30
		県	9.40	9.61	9.62	9.59	9.64	9.60	17.47	14.64	14.39	14.27	14.15	13.78
		市	9.41	9.54	9.63	9.56	9.64	9.60	16.98	13.64	13.66	13.62	13.55	13.32
中学校	2年	全	8.81	8.87	8.80	8.78	8.81	8.88	15.42	13.12	12.96	12.98	12.97	12.72
		県	8.74	9.03	8.08	8.89	8.89	8.93	15.05	13.46	12.98	13.00	12.93	12.79
		市	8.72	9.02	8.92	8.92	8.90	8.92	14.86	12.97	12.43	12.41	12.34	12.34
※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により調査は中止														

（出典）全国体力・運動能力、運動習慣等調査

指標		第1期計画					
		平成23年度	平成28年度 (中間見直し)	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度 (目標値)
指標2	成人の週1回以上のスポーツ実施率（%）	38.0%	44.4%	→	→	42.5%	55.0%
	成人で1年に1度もスポーツをしない者の割合（%）	19.6%	25.2%	→	→	21.9%	ゼロに近づく

（出典）令和4年度（2022年度）鹿児島市スポーツ実施状況等に関する調査集計分析報告書

指標		第1期計画					
		平成23年度	平成28年度 (中間見直し)	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度 (目標値)
指標3	地域スポーツクラブが各地域で1年間に実施するスポーツ教室等の開催（回数）	169回	243回 (平成27年)	266回	220回	-	260回

（出典）（公財）鹿児島市スポーツ振興協会

指標	第1期計画					
	平成23年度	平成28年度 (中間見直し)	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度 (目標値)
指標4 国体での本市出身選手・団体の入賞種目(種目)	17種目	19種目 (平成27年)	33種目	—	32種目	28種目

(出典) (公財) 鹿児島市スポーツ振興協会

指標	第1期計画					
	平成23年度	平成28年度 (中間見直し)	令和元年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度 (目標値)
指標5 スポーツに関わるボランティアをした人の割合(%)	7.6%	5.8%	→		5.3%	8.8%

(出典) 令和4年度(2022年度)鹿児島市スポーツ実施状況等に関する調査集計分析報告書

(2) 第1期計画の総括

第1期計画は、「スポーツが人を育み結ぶ かがしま市」を基本目標として策定し、この基本目標の実現に向けた各種事業を展開し、本市のスポーツ推進に取り組んできました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、様々なスポーツ活動、スポーツイベントの中止や活動自粛で、スポーツに親しむ機会が失われたほか、令和2年度(2020年度)に開催予定だった「燃ゆる感動かがしま国体・かがしま大会」が延期になるなど、本市の市民生活や社会活動に大きな影響を及ぼしました。

国の第3期計画において、スポーツが私たちの市民生活や社会活動に活力を与え、優れた様々な効果を及ぼす重要な価値を持つことが再認識されており、今後は、新型コロナウイルス感染症による生活スタイルや価値観の変化を考慮するとともに、スポーツを取り巻く環境や社会状況の変化に対応した各種事業を展開するなど、本市のさらなるスポーツ推進に向けた取組を行う必要があります。

(3) 本市のさらなるスポーツ推進に向けた現状・課題

① 子どもの体力の低下・部活動改革への取組

本市の子どもの体力は、全国・県の平均より下回っており、運動をする子どもとしない子どもの二極化が進んでいる傾向にあります。

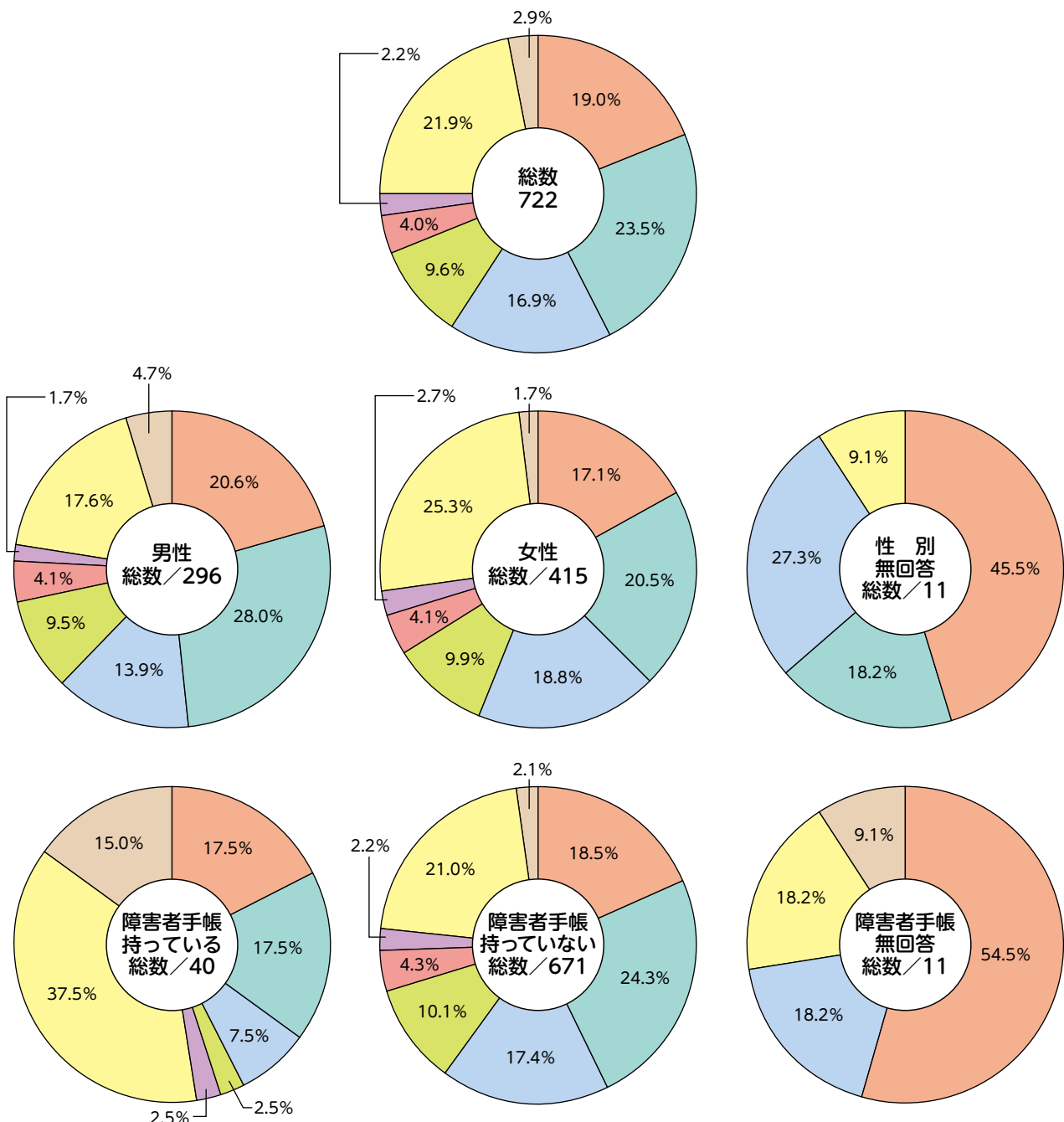
また、中学校の運動部活動において、令和5年度(2023年度)以降、休日の運動部活動の段階的な地域移行を図っていくにあたり、スポーツ指導者の確保やスポーツ団体等との連携など、様々な課題があります。

② 障害者等のスポーツ実施率の向上

障害がある方や女性のスポーツ実施率は、全体と比較すると低く、誰もがスポーツを実施できる機会を創出する必要があります。

18歳以上のスポーツの実施状況（令和4年度）

- 週に3日以上
- 週に1～2日
- 月に1～3日
- 3か月に1～2日
- 1～3日
- わからない
- 運動やスポーツをしなかった
- 無回答



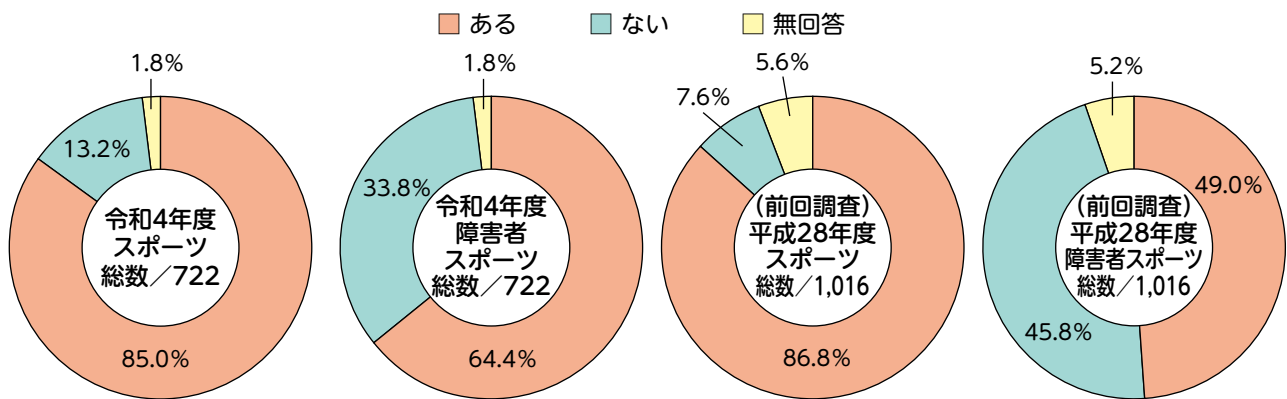
（出典）令和4年度（2022年度）鹿児島市スポーツ実施状況等に関する調査集計分析報告書
 ※集計結果は百分率で算出し、四捨五入の関係上、百分率の合計が100%にならない場合がある。

③ スポーツに関する興味・関心の希薄化

障害者スポーツの観戦・視聴は増えたものの、スポーツの観戦・視聴は前回の調査より減少しています。

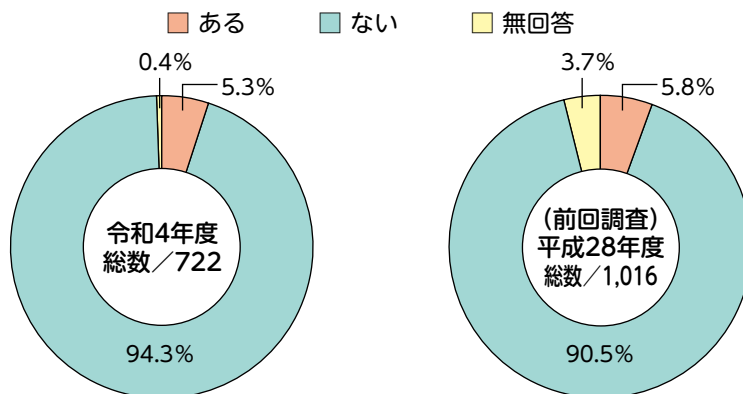
また、スポーツをささえる活動の参加率も前回の調査結果より減少しており、スポーツの楽しさや感動を分かちあうようなスポーツの重要性を広く啓発する必要があります。

スポーツ観戦・視聴（令和4年度）



(出典) 令和4年度（2022年度）鹿児島市スポーツ実施状況等に関する調査集計分析報告書

スポーツをささえる活動の参加率（令和4年度）



(出典) 令和4年度（2022年度）鹿児島市スポーツ実施状況等に関する調査集計分析報告書

④ 地域におけるスポーツ推進の向上

地域によってスポーツ活動への取組に格差があることから、地域ごとの特色あるスポーツ活動の活性化を促し、地域からスポーツ活動を盛り上げるための取組を支援する必要があります。

⑤ 全国大会で活躍する選手等への支援

本市の選手等が全国で活躍することは、子ども達の憧れにつながり、私たちに元気を与えることから、各面から選手や指導者の活動を支援する必要があります。

⑥ スポーツ・ツーリズム^{※8}の推進

スポーツイベントやスポーツ施設等は、スポーツで本市を盛り上げることで、地域経済の活性化につながることから、本市のスポーツ資源や観光資源等を最大限に活用した取組が必要になります。

第2期鹿児島市スポーツ推進計画

————— <KAGOSHIMA CITY> —————

第2章

計画の全体像

1

基本目標及び基本方針

第2期計画については、これまでの各種事業の取組により、さらなる本市のスポーツ推進・交流の拡大を図るとともに、令和5年（2023年）に開催される「特別国民体育大会・特別全国障害者スポーツ大会（燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会）」等を活かし、誰もがスポーツを「する」「みる」「ささえる」ことができる社会の実現を目指します。

また、国の第3期計画の新たな視点である「つくる／はぐくむ」「あつまり、ともに、つながる」「誰もがアクセスできる」も取り入れ、本市のスポーツ推進につなげていきます。

基本目標

スポーツでにぎわう 活力あるまち 鹿児島市

上記基本目標を実現するために、第1期計画の内容を踏襲するとともに、国の第3期計画を参酌した新たな5つの基本方針を設定します。

基本方針1

生涯にわたるスポーツ活動の推進

基本方針2

誰もがスポーツに関わる機会の創出

基本方針3

地域からスポーツを盛り上げる活動の推進

基本方針4

全国大会を目指す選手等への支援

基本方針5

スポーツによる地方創生・まちづくり



↑ヨガ教室
(どこでもヨガ in 吉野公園)



小学生向け
スポーツ体験会→



↑市民向けニュースポーツ
体験イベント
(トップアスリートと大運動会！)



↑シーカヤック体験

2

計画の体系及び目標指標

基本目標に基づき、5つの基本方針ごとに関連する基本施策を体系化し、取組を進めるとともに、施策の取組の目標として、次の8つの目標指標を設定します。目標年度は計画の最終年度である令和9年度（2027年度）とします。

第2期鹿児島市スポーツ推進計画体系図

基本目標

スポーツでにぎわう

活力あるまち

鹿児島市

基本方針1

生涯にわたるスポーツ活動の推進

基本施策

- ① 学校や地域におけるスポーツ活動の推進
- ② 多様な主体におけるスポーツを「する」機会の創出
- ③ スポーツ教室等の情報提供
- ④ スポーツを「する」人の安全・安心の確保

基本方針2

誰もがスポーツに関わる機会の創出

基本施策

- ① スポーツを「みる」機会の創出
- ② スポーツを「ささえる」体制の支援

基本方針3

地域からスポーツを盛り上げる活動の推進

基本施策

- ① 様々な団体との連携
- ② 地域の特性を活かしたスポーツ活動の推進

基本方針4

全国大会を目指す選手等への支援

基本施策

- ① 各競技団体等の育成強化
- ② 競技力向上の支援
- ③ 各種スポーツ大会の支援

基本方針5

スポーツによる地方創生・まちづくり

基本施策

- ① トップアスリートと連携したスポーツによるまちづくり
- ② スポーツキャンプ受入のさらなる推進
- ③ スポーツイベントやスポーツ施設等を活かした地域経済の活性化

指標		令和3年度	令和4年度		令和9年度 (目標値)
指標1	「運動やスポーツをすることが好き・やや好き」と回答した児童の割合(小5・男女平均)	87.7%	—	➡	93.0%
指標2	市民の週1回以上のスポーツ実施率(18歳以上)	—	42.5%	➡	55.0%
指標3	市民の週1回以上のスポーツ実施率(18歳以上、障害者のみ)	—	35.0%	➡	45.0%

(出典) 指標1全国体力・運動能力、運動習慣等調査、指標2～3令和4年度(2022年度)鹿児島市スポーツ実施状況等に関する調査集計分析報告書

指標		令和3年度	令和4年度		令和9年度 (目標値)
指標4	市民の年1回以上の障害者スポーツ観戦・視聴(18歳以上)	—	64.5%	➡	70.0%
指標5	市民の年1回以上のスポーツに関するボランティア活動の参加率(18歳以上)	—	5.3%	➡	10.0%

(出典) 令和4年度(2022年度)鹿児島市スポーツ実施状況等に関する調査集計分析報告書

指標		令和3年度	令和4年度		令和9年度 (目標値)
指標6	総合型地域スポーツクラブの会員数	3,785人	—	➡	8,000人

(出典) 総合型地域スポーツクラブ*9会員数(令和4年3月末現在)

指標		令和元年度	令和4年度		令和9年度 (目標値)
指標7	国体での本市出身選手・団体の入賞種目	33種目	32種目	➡	33種目

(出典) (公財)鹿児島市スポーツ振興協会*5(令和2年度及び令和3年度は、国体中止)

指標		令和3年度	令和4年度		令和9年度 (目標値)
指標8	スポーツキャンプ受入数	9チーム	—	➡	5年間で50チーム

(出典) 鹿児島市スポーツ課

第2期鹿児島市スポーツ推進計画

————— <KAGOSHIMA CITY> —————

第3章

基本方針の展開

基本方針 1

生涯にわたるスポーツ活動の推進

生涯にわたりスポーツに親しみ、楽しむことは、心身の健全な発達や健康・体力の維持増進、人と人との交流による地域の活力の向上など、様々な効果をもたらすことから、いつでも、どこでも、スポーツに「誰もがアクセスできる」環境を充実させ、あらゆるスポーツを通して「あつまり、ともに、つながる」取組が重要になります。

そのため、子どもがスポーツを「やってみたい」と思えるよう学校や地域と連携したスポーツ活動を推進し、子どもがスポーツを「好きになる」割合の増加を目指すほか、多様化するスポーツニーズの把握に努め、誰もがスポーツを「する」ことができる機会の創出を図ります。

また、スポーツを身近に感じることができる機会として、スポーツ教室等の積極的な情報提供に取り組みとともに、スポーツを「する」人が安全・安心に活動できる体制の確保に努め、スポーツで魅力あふれる鹿児島市を目指します。

基本施策① 学校や地域におけるスポーツ活動の推進

《主な取組例》

- ・本市のスポーツ施設、地域公民館などの施設及び広場を活用した親子向けの充実した健康づくり教室等の開催
- ・学校の体育を充実させるための教員への研修会の開催
- ・運動が好きな子どもの増加、及び子どもの体力・運動能力向上に向けた「スポーツ体験会及び体力アップ教室（仮称）」等の実施
- ・子ども向けスポーツ教室等におけるトップアスリートによる指導
- ・「運動部活動の地域移行」の検討及び推進

基本施策② 多様な主体におけるスポーツを「する」機会の創出

《主な取組例》

- ・「特別国民体育大会・特別全国障害者スポーツ大会（燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会）」を活かしたスポーツを「する」機会の創出
- ・スポーツ実施状況等に関する調査を活用した新たな事業の検討
- ・本市スポーツ施設等における魅力あるスポーツ教室等の実施
- ・スポーツ推進委員^{*7}や総合型地域スポーツクラブとの連携強化
- ・（公財）鹿児島市スポーツ振興協会が実施する本市の地域資源とスポーツを融合した事業実施への支援
- ・高齢者の健康増進に向けた各教室等の実施
- ・女性がスポーツに取り組みやすい教室等の実施及びスポーツを始めるきっかけづくりの推進
- ・障害者が気軽にスポーツできる環境の整備や障害者スポーツの普及促進
- ・アーバンスポーツ^{*1}等の新しいスポーツへの対応

基本施策③ スポーツ教室等の情報提供

《主な取組例》

- 本市スポーツ施設、(公財)鹿児島市スポーツ振興協会及び総合型地域スポーツクラブ等が実施するスポーツ教室等情報を集約した広報戦略の展開

基本施策④ スポーツを「する」人の安全・安心の確保

《主な取組例》

- スポーツ指導者に対する情報提供や研修の推進
- スポーツ安全保険の加入の推進
- 安全にスポーツ活動ができるスポーツ施設や学校体育施設等の管理運営

基本方針 2

誰もがスポーツに関わる機会の創出

新型コロナウイルス感染症の拡大により、近年、スポーツイベントが制限され、「する」「みる」「ささえる」取組の制約による心身の健康保持への悪影響や閉塞感のまん延など、様々な影響が顕在化しました。そうした中で開催された東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催により、改めて、スポーツの価値の重要性が認識されました。さらに、令和5年（2023年）に本県で開催される「特別国民体育大会・特別全国障害者スポーツ大会（燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会）」は、誰もがスポーツに関わる機会の創出につながることを期待されます。

そのため、本市が一体となって「特別国民体育大会・特別全国障害者スポーツ大会（燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会）」を盛り上げ、誰もがスポーツに「あつまり、ともに、つながる」ことの実現に向けて取り組むとともに、大会のレガシーも活用したさらなる本市のスポーツ推進を図ります。

また、多様なスポーツの楽しみ方がスポーツ参画人口の拡大につながることから、スポーツを「みる」機会の創出を図るとともに、スポーツを「ささえる」体制の支援を構築することで、誰もがスポーツに関わり、スポーツを通じた活力あるまちを目指します。

基本施策① スポーツを「みる」機会の創出

《主な取組例》

- ・「特別国民体育大会・特別全国障害者スポーツ大会（燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会）」を活かしたスポーツを「みる」機会の創出
- ・本市を拠点に活躍するトップアスリートを応援する機運の醸成
- ・誰もが楽しめるeスポーツ^{*3}を活用したイベントの開催
- ・スポーツイベントや大会を本市全体で盛り上げる機運の醸成

基本施策② スポーツを「ささえる」体制の支援

《主な取組例》

- ・地域のスポーツ活動を「ささえる」スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ及び運動普及推進員^{*2}との連携
- ・（公財）鹿児島市スポーツ振興協会によるスポーツ団体への障害者スポーツも含めた指導者の育成や資質向上の支援
- ・スポーツイベントにおけるスタッフ・ボランティア活動の動機づけのための啓発

本市には、地域のスポーツ活動を支える総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員、（公財）鹿児島市スポーツ振興協会などの様々な団体があり、地域の実情やスポーツニーズに応じたスポーツ活動を展開しており、本市のスポーツ推進の重要な役割を担っています。

これらの団体がさらに地域からスポーツを盛り上げるためには、各地域における多様化するスポーツニーズを的確に捉え、様々なスポーツ関係団体や地域の団体等との連携を図ることが重要です。

また、様々な団体との連携を通して、本市の地域資源とスポーツを活用した魅力あるプログラム作りを行うほか、地域の特性を活かしたスポーツ活動の推進を図り、地域からスポーツを盛り上げるさらなる本市のスポーツ推進を目指します。

基本施策① 様々な団体との連携

《主な取組例》

- ・総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員、運動普及推進員との連携による誰もが地域で気軽にスポーツを楽しむ活動の推進
- ・（公財）鹿児島市スポーツ振興協会が実施する本市の地域資源とスポーツを融合した事業実施への支援（再掲）
- ・企業へのスポーツ活動実施によるプラス効果の啓発
- ・地域と学校が連携したスポーツ活動の推進

基本施策② 地域の特性を活かしたスポーツ活動の推進

《主な取組例》

- ・スポーツ推進委員と連携した地域の特性を活かしたスポーツ活動の推進
- ・幅広い世代のスポーツ推進委員への参画と資質向上の取組強化
- ・市内で活動する総合型地域スポーツクラブ相互の意見交換の場の設置
- ・総合型地域スポーツクラブの魅力あるスポーツ教室等のプログラム作りの検討
- ・（公財）鹿児島市スポーツ振興協会が実施する本市の地域資源とスポーツを融合した事業実施への支援（再掲）

基本方針 4 全国大会を目指す選手等への支援

全国大会での本市出身選手の活躍は、市民に誇りと喜び、夢や感動を与えるとともに、誰もがスポーツへの関心を高め、スポーツを始めるきっかけづくりにつながります。

そのため、各競技団体等の育成強化に必要な支援や、競技力向上に必要な支援を行うほか、各種スポーツ大会の開催支援により、選手や指導者の技術力向上につなげ、本市から全国大会等を目指す選手等への支援強化を図ります。

また、子ども達の将来のスポーツ活動の可能性を広げるためのスポーツ体験の場の創出を図ります。

基本施策① 各競技団体等の育成強化

《主な取組例》

- ・本市競技団体への必要な支援策の検討
- ・本市競技団体との連携による小学生向けの体験会の実施
- ・県民体育大会や県下一周市郡対抗駅伝競走大会への出場選手等への支援
- ・スポーツ少年団の指導者等を対象とした活動におけるルール・マナーの啓発

基本施策② 競技力向上の支援

《主な取組例》

- ・競技力向上に向けた選手及び指導者を対象としたセミナーの開催
- ・国体強化指定選手への本市スポーツ施設の使用支援
- ・本市出身選手及び指導者における受入可能な地元企業への就職支援
- ・小学生を対象としたスポーツ体験会の実施

基本施策③ 各種スポーツ大会の支援

《主な取組例》

- ・市民体育大会の開催
- ・県民体育大会や県下一周市郡対抗駅伝競走大会への出場選手等への支援（再掲）
- ・中学生の九州地区トップチームとの交流大会の支援
- ・障害者スポーツの向上に向けた大会の開催

本市を拠点に活動する鹿児島ユナイテッドFCや鹿児島レブナイズなどのトップアスリートの活躍やスポーツキャンプの受入は、市民に元気を与えると同時に、地域の活力となっています。また、鹿児島マラソンなどのスポーツイベントは、全国に本市の魅力がPRできるスポーツコンテンツを有しており、まちのにぎわい創出や交流人口の拡大につながっています。

それらを、市民一人ひとりが本市の大きな魅力であると再認識し、誰もがスポーツを楽しみ、関わっていくことが重要になります。

そのため、本市で活動するトップアスリートとの連携を強化するほか、温暖な気候を活かし、関係機関と連携したスポーツキャンプ受入のさらなる推進を図り、まちのにぎわいの創出と本市の魅力発信に取り組みます。さらに、様々なスポーツ団体と連携し、地域資源を最大限に活かしたスポーツがにぎわいの核となる取組を推進し、スポーツによる本市の地方創生・まちづくりを目指します。

基本施策① トップアスリートと連携したスポーツによるまちづくり

〈主な取組例〉

- ・トップアスリートの競技観戦の啓発強化
- ・子ども向けスポーツ教室等におけるトップアスリートによる指導（再掲）
- ・鹿児島ユナイテッドFCと喜入地域の連携

基本施策② スポーツキャンプ受入のさらなる推進

〈主な取組例〉

- ・鹿児島県、スポーツ施設及び市内のホテルとの連携強化
- ・南アフリカラグビーチーム受入のレガシーを活用した本市のPR推進
- ・チームや個人による子どもを対象としたスポーツ教室の開催に向けた連携
- ・大学生における本市スポーツ施設及びホテルを活用した合宿誘致の支援
- ・県外で開催される「かごしまスポーツ合宿セミナー」など、学生や旅行会社への誘致セールス実施

基本施策③ スポーツイベントやスポーツ施設等を活かした地域経済の活性化

〈主な取組例〉

- ・鹿児島マラソンやランニング桜島開催による地域経済の活性化推進
- ・スポーツと観光、食、産業等の融合による新たなスポーツ・ツーリズムの推進
- ・スポーツを核としたまちづくりの推進に向けた多機能複合型のスタジアム整備の検討、鹿児島アリーナなど本市スポーツ施設の拡充

第2期鹿児島市スポーツ推進計画

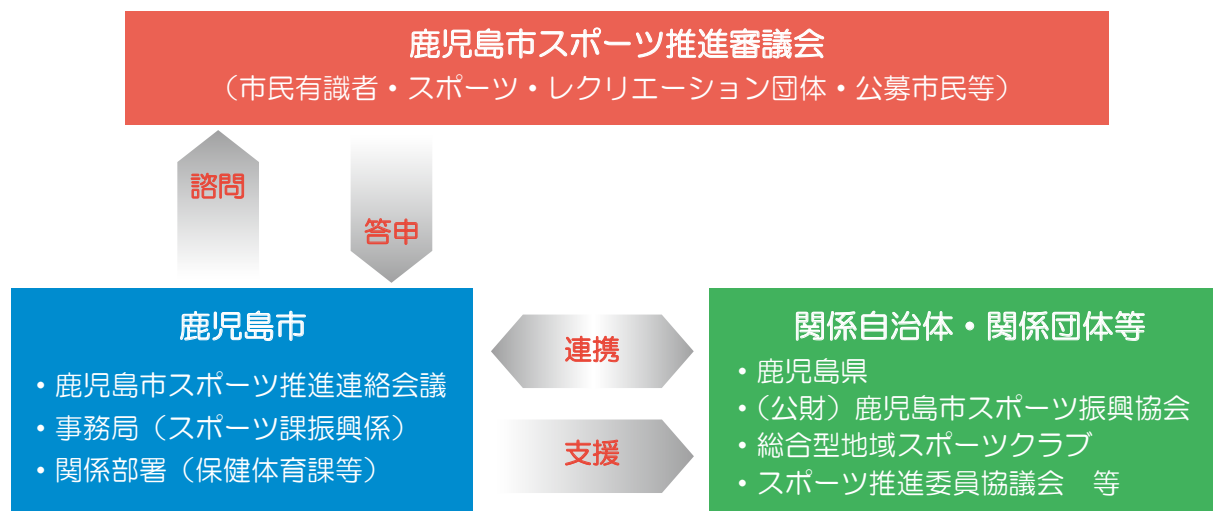
————— <KAGOSHIMA CITY> —————

第4章

本市のスポーツ振興に向けて

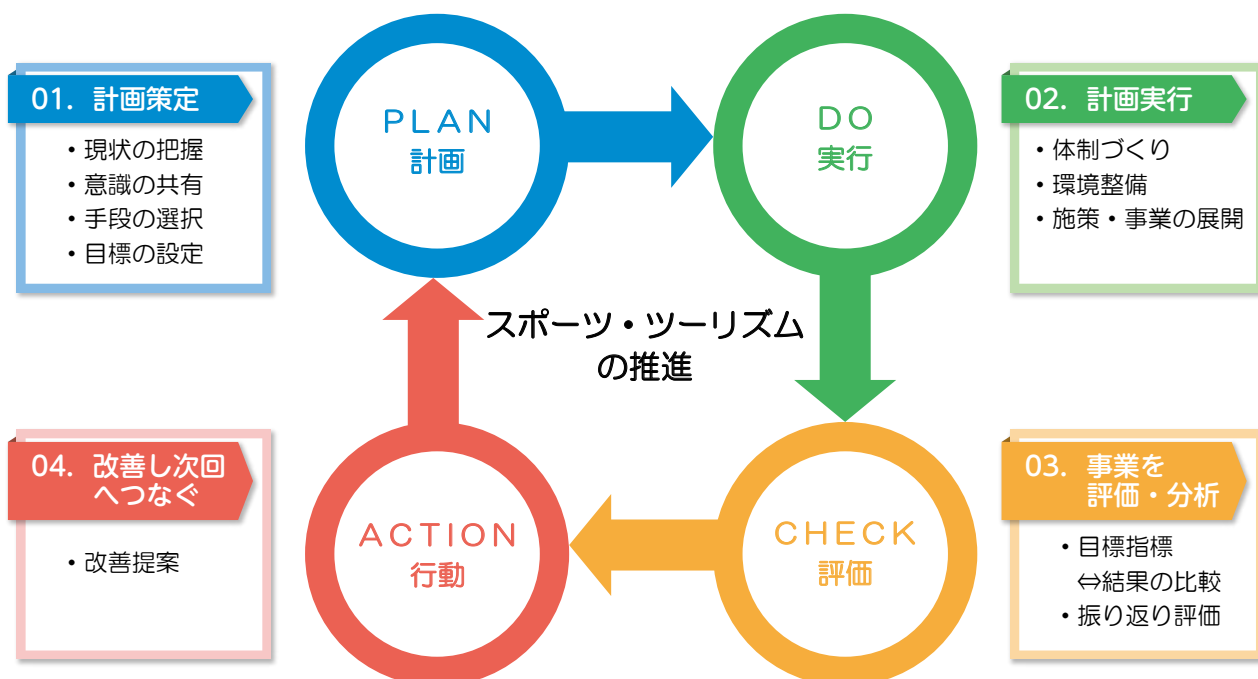
1 推進体制

次の推進体制のとおり、本市のスポーツ推進に関わる関係団体などと、スポーツでにぎわう活力あるまちを目指して、各種施策に取り組みます。また、市（スポーツ課）が計画の進行管理を行います。



2 計画の進行管理

本計画を着実に推進するため、進捗状況や目標の達成状況を定期的に把握・検証し、鹿児島市スポーツ推進審議会等に報告するとともに、多様なスポーツニーズに対応するため、必要に応じて計画を見直すなど、PDCAサイクルにより進行管理を行いながら、より効果的な施策や事業の展開を図ります。



用語解説 (50音順)

● あ行

※1アーバンスポーツ

BMX、スケートボード、パルクール、インラインスケート、ブレイクダンスなどといった、都市型スポーツのこと。

※2運動普及推進員

市民の健康づくりのために、運動の必要性や大切さ、実際の動きなどを声かけ、実践し、運動の普及啓発をするボランティアのこと。

※3eスポーツ

「エレクトロニック・スポーツ」の略で、コンピューターゲーム等を用いた対戦をスポーツ競技として捉える際の名称。

● か行

※4ガバナンス

関係者がその相互作用や意思決定により、社会規範や制度を形成し、強化し、再構成していくこと。

※5（公財）鹿児島市スポーツ振興協会

生涯スポーツ、競技スポーツの振興を図るとともに、スポーツを通じた交流の拡大等を進め、市民の健康増進、活力のあるまちづくりの実現を目指す鹿児島市が令和2年4月に設立した法人。

● さ行

※6スポーツ・インテグリティ

スポーツが様々な脅威により欠けるところなく、価値ある高潔な状態のこと。

※7スポーツ推進委員

地域と行政のパイプ役として、地域スポーツ・レクリエーションの実技指導やスポーツ大会等の指導・助言、調整等を行うとともに、市主催のスポーツ教室等の運営に協力し、市民スポーツの普及・振興に資することを目的として、市長から委嘱された市の非常勤職員。

※8スポーツ・ツーリズム

スポーツを見に行くための旅行およびそれに伴う周辺観光や、スポーツを支える人々との交流など、スポーツに関わる様々な旅行のこと。

※9総合型地域スポーツクラブ

地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブのこと。

● た行

※10DX（デジタルトランスフォーメーション）

「スポーツ団体等が、データとデジタル技術を活用して、既存の手法にとらわれずに、「空間」や「時間」等の壁に関係なくスポーツに関する知見や機会を国民や社会に広く提供することを可能にする」という考え方。

第2期鹿児島市スポーツ推進計画

発行年月 令和5年3月（令和5年3月策定）

編集・発行 鹿児島市観光交流局観光交流部スポーツ課
〒892-8677 鹿児島市山下町11番1号
TEL 099-808-7504

